

2024年度(令和6年度)学校評価自己評価表

向丘 中学校区	校番	福山市立 向丘中 学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に出た際に、正しい判断を基にした、主体性、課題発見から解決まで実行できる力を育てほしい。 ・教育相談を継続推進で、生徒との信頼関係と成長につないでほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事や各取組において、生徒が仲間と挑戦したい内容を協議し、全校で実現に向かう姿が見られる。 ・学習に粘り強く取り組む生徒が増えてきた。 ・様々な状況が要因となり、長期欠席に陥る児童生徒が増えた。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>主体性、自己理解、課題発見・解決力</p> <p>人とかかわり合いを大切にし、学ぶ意欲を持ち、自分の生き方を主体的に考える子ども</p> <p>○本校の取組を深く理解し、自主性・主体性を発揮し、「子ども主体の学び」の実現に向けて取り組む。 ○各校の実践や研究についての交流を深め、職員の主体性の向上や意識改革のきっかけとする。 ○お互いの具体的な実践の交流から課題意識、自己研鑽の意欲を持ち、個人的に授業参観、放課後の相談等、教職員が起点となる研修を推進する。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III 自校

<p>ミッション</p> <p>自校や郷土に愛着と誇りを持ち、仲間とともに貢献する生徒を育成する。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p>	<p>主体性</p>	<p>課題発見・解決力</p>	<p>自己肯定感</p>
<p>学校教育目標</p> <p>「感謝感動の心と貢献する心を大切に持ち続けることができる生徒の育成」</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>夢と志を持ち、自らの考えを発信しながら意欲的に学ぶ生徒</p>	<p>自己を認識し、自分の人を選択し表現することができる生徒</p>	<p>人を大切にし、他者との良好な人間関係を築くことができる生徒</p>
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <p>○「明るく 自由に 伸びやかに」の風土のもと、学校生活を送っている。</p> <p>○全生徒を対象とした教育面談週間を推進することで、教師との信頼関係が積みあげられてきている。</p> <p>○「きらり」の推進により、学校や学級への貢献意識および自己有用感の高揚に向けた変化が始まっている。</p> <p>○他者の意見へ依存する傾向があり、自らの考えを深めたり、広げたりする経験が少ない。</p> <p><授業></p> <p>○単元を通しての問いや見方・考え方、活用方法などを積み重ね探究することにより、生徒の主体的な学びの姿が見られるようになってきている。</p> <p>○定期考査前には補習教室を実施したり、タブレット端末を活用したりして個々の学びの状況に応じた学習が展開できている。また、長期休業中の自主学習のための教室解放により、学びの集団ができてきている。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の正答率は市平均より高いが、主体的・対話的で深い学びに関する意識は低い。</p>	<p>テーマ</p> <p>生徒が、毎日の授業の中で「学びの価値を実感できる授業」を全教科で推進する【令和6年度校区設定テーマ:「言葉」で「学び」に向かう向丘中学校区の子ども】</p>	<p>研究</p> <p>内容等</p> <p>○「主体性・自己理解」を育むために、全生徒を対象とした教育面談週間を設定する。</p> <p>○「課題発見・解決力」を育むために、生徒および教師がともに挑戦してみようと思えるものを共有し、疑問の発見から探求へ、そして発見したことを表現する活動を授業等で実践する。</p> <p>○「自己肯定感」の高揚に向けて、特活を起点に据え協働的な学びの場を充実させる。</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>○基礎学力の定着に向けて繰り返し学習を大切にしながら、生徒と教師が全力で授業に取り組んでいる。<基礎基本の定着></p> <p>○見方・考え方を働かせ、自らの思考、表現をしている。<主体的な学び></p> <p>○指導と評価を見直し、生徒の学力を定着させる授業実践を行う。<令和5年度入試制度改正></p>	

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 向丘中 学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標 ●校区共通	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	○ 評価	○ 達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	○ 評価	○ 達成 評価	○ 総合 評価
3	「学びが面白い!」の実現	★	継続	授業改善に取り組み、子ども主体の学びを実現する。	・授業で学んだことへの興味や疑問を探究し表現する時間を各単元題材において設定する。	●生徒アンケート 「授業で考えることは面白い」と感じている生徒の肯定回答を前年度以上にする。(前年度64%)								
			継続	基礎的学力の確かな定着とともに、発展・活用的な課題へ挑戦する意欲を養う。	・入試問題や発展・活用的な課題へ挑戦する機会を単元テスト、定期考査等において設定する	・挑戦の機会を設定した問題において、無回答の生徒を40%以下にする。								
			継続	個別最適な学びの実現を図り、生徒の学ぶ力を高める。	・ICT 端末を活用し、生徒自身が課題発見・課題解決に取り組む授業実践を行う。	・教員アンケート 「人はどのように学ぶか、何につまずくかについて関心をもち、教材研究を行っている。」の項目で肯定的回答を前年度以上にする。(前年度40%)								
3	「自律・貢献」できる生徒の育成		継続	生徒の自己肯定感を育み、自己実現に向けた意欲を向上させる。	・生徒が主体となる「特別活動」を通して、協働的な学びの場を充実させ、キャリアログや振り返りをもとに評価、面談を行う。	・生徒アンケート 「自分のよさはまわりの人から認められていると思う」肯定回答を80%以上にする。(前年度73%)								

		★	継続	生徒一人一人を大切にされた個別支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 欠席率, アセスの結果, 日々の生活の様子を教員で共有し, 各学年で計画的に個別対話や評価面談を実施し, 個に応じた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期欠席者の出現率を5.0(18人)とする。(前年度6.4) 								
3	学校組織力の向上	★	継続	働き方改革取組方針を踏まえ, 主体的に業務改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 主任主事を中心に, 業務の可視化を図り, 全教職員が見通しを持って業務にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> 7割以上の教職員が月の在校等時間45時間以内を達成する 								
			継続	教職員が主体性を発揮し, やってみたい実践を実現できる学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 特活や行事の充実を図る。子ども達と共に挑戦し続ける環境を構築し, 達成感を学校全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員アンケート「仕事にやりがいを感じている」肯定75% 								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ, 状況の変化, 問題が生じた際は, 協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し, 十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ, 状況の変化, 問題が生じた際は, 協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し, 望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ, 状況の変化, 問題が生じた際は, 協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し, 一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く, 状況の変化, 問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り, 成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず, 状況の変化, 問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り, 成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。